

星空案内人資格認定制度ニュースレター No.65

発行：特定非営利活動法人星のソムリエ機構

発行日：2024年11月30日

目次

第17回 星空案内人(星のソムリエ®)シンポジウム開催のお知らせ(第一報: 発表募集、協賛募集).....	1
2026年以降の星空案内人シンポジウム開催地募集.....	2
SNS利用時のお願い.....	2
星のソムリエ講座講師のための講習会「さあ、はじめよう」.....	3
「あつまれ!紫金山・アトラス彗星写真展」@星のソムリエ機構公式 Instagram.....	4
新実施団体誕生「星のソムリエ®ヨロン」.....	4
星のソムリエ情報交換会12月.....	4
第3回星のソムリエのワークショップのお知らせ.....	5
11月の機構の活動.....	5
11月(第15回)星のソムリエ何でも情報交換会(11月).....	5
9月定例理事会の開催.....	8
ニュースレターへお便り.....	8
お願い(原稿募集).....	8

第17回 星空案内人(星のソムリエ®)シンポジウム開催のお知らせ (第一報: 発表募集、協賛募集)

星空案内人シンポジウムの開催をお知らせです。今回はシンポジウムにて発表して下さる方を募集いたします。発表なしで参加のみの皆さんには、1月31日頃に詳細プログラムを添えて募集しますので、しばらくお待ちください。詳しくは、シンポジウムのホームページをご覧ください。

発表申込みは、ホームページにある申し込みフォームからお申し込みください。締め切りは、1月13日です。

併せて、特別協賛、協賛、ブース協賛、ブース展示、後援も募集しています。ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

日程： 2025年3月2日(日曜)、3日(月曜)
会場： ディスカバリーパーク焼津天文学
現地およびオンライン参加のハイブリッド開催です
〒425-0052 静岡県焼津市田尻 2968-1
主催： 特定非営利活動法人 星のソムリエ機構
共催： ディスカバリーパーク焼津天文学館



シンポジウムホームページはこちらです：
<https://star-sommelier.org/symp17/>

2026年以降の星空案内人シンポジウム開催地募集

2026年春またはそれ以降のシンポジウムの開催地がまだ決まっておりません。開催地提供の可能性がありましたら是非、検討をお願い申し上げます。今回のシンポジウムホームページ(上記)の掲示板に開催地検討資料とエントリーシートを準備いたしました。ご覧になり御検討をお願い申し上げます。

SNS 利用時のお願い

星のソムリエ機構の公式 SNS (@hoshisom) について、多くの方にフォローやハッシュタグを使用した投稿をいただき誠にありがとうございます。ハッシュタグによる PR 効果を高めるため、ハッシュタグは以下のルールに基づいて投稿をお願いします。



ぜひ付けていただきたいハッシュタグはこちら↓

#星のソムリエ® #星空案内人



以下は公式アカウントのみが使用可能↓

#星のソムリエ機構 #星のソムリエ機構公式

正しく使用することで星のソムリエ®の魅力がたくさん発信できるようになりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

また、まだフォローしていない方は、ぜひフォローをお願いします。

星のソムリエ講座講師のための講習会「さあ、はじめよう」

さあ始めようの講習会は2回目が終了しました。第一回、第二回の録画、説明スライド、講義スライドサンプルがホームページ(以下の URL)から参加申込をすれば利用できます。最終回は 12 月 2 日 20:00 スタートです。

参加申し込みやすでに申し込まれた方の資料閲覧は以下のホームページから。申し込みフォームを受け付けると、参加者のページの ID とパスワードが提示されますのでメモするようにしてください。

<https://star-sommelier.org/seminar/>

(右の QR コードでも OK です)



講習会の趣旨：

「さあ、はじめよう」の講義要綱が改訂され、2025 年より完全移行します。新しい内容に変わったと言っても、どう変わったのか、どういう趣旨で変わったのかが分かりにくいと思いますので改定内容の説明会を開催します。模擬授業もいたします。その際使ったスライドも提供できます。講座運営スタッフの皆さん、講師の皆さんの参加をお願いします。これから実施団体を立ち上げたい、講師を初めて担当する方も歓迎です。

講師のための講習会、新しい「さあ、はじめよう」

～ 星のソムリエ資格認定 講義要綱の改定 ～

3 回に分けてオンラインで行い、その後、インターネットにて配信しますのでそちらでも受講、復習ができます。

1 回目

開催日時：2024 年 11 月 4 日(月曜；振替休日) 14:00-16:00

MC: 後藤みゆ(星のソムリエ®仙台)

講師: 柴田晋平(星のソムリエ機構)

第 1 章 星空案内の楽しみ

第 2 章 星座に親しむ

2 回目

開催日時：2024 年 11 月 18 日(月曜) 20:00-22:00

MC: 萩野祐司(奥三河☆星空の魅力を伝える会)

講師: 柴田晋平(星のソムリエ機構)

第 3 章 星の明るさと色

第 4 章 地球の自転と公転による星の見え方の違い

3 回目

開催日時：2024 年 12 月 02 日(月曜) 20:00-22:00

MC: 田中 里佳(かわさき宙と緑の科学館)

講師 柴田晋平(星のソムリエ機構)、
第5章 太陽系の概観
第6章 いろいろな天体

「あつまれ！紫金山・アトラス彗星写真展」@星のソムリエ機構公式

Instagram

星のソムリエ機構公式 Instagram では、「あつまれ！紫金山アトラス彗星写真展」と題した投稿キャンペーンを行いました。24 件のご応募をいただき、全て投稿させていただきました。どの写真にも、それぞれの方の想いが感じられて、掲載の作業も楽しいものとなりました。

見上げれば、そこに星がある。宇宙のロマンを感じさせてくれた紫金山アトラス彗星は、ずいぶん光度は暗くなりましたが、望遠鏡ではまだ観察可能です。

またこんな素敵な出会いがあるよう星に願いをこめながらアップロードさせていただきました。ぜひ、星のソムリエ公式 Instagram で、それぞれの方のコメントをゆっくり読みながら作品をお楽しみください。

また X でも色んな情報発信中！こちらのフォローもよろしくお願いします。

Instagram : <https://www.instagram.com/hoshisom>

X (旧 Twitter) : <https://x.com/hoshisom>



新実施団体誕生「星のソムリエ®ヨロン」

このほど新しく「星のソムリエ®ヨロン」(呼称)が実施団体の仲間入りをしました。実施団体は、与論島 夜空のおさんぼガイドの会です。ともに星のソムリエ®(星空案内人)の普及向上に向けて進みましょう！

星のソムリエ情報交換会 12 月

日時 2024 年 12 月 4 日水曜 20:00-21:15

場所 zoom 会議

今月のテーマは「星空案内と観光」

招待講演 1 : 「星のソムリエ®YORON によるアストロツーリズムの実践の 6 年間」

澤田 幸輝 (和歌山大学大学院観光学研究科)

招待講演 2 : 「[野辺山の観光資源を活かして・・・17年間]

小塩 智也(八ヶ岳・野辺山高原,八ヶ岳グレイスホテル)

情報提供 1 : 宮本 秀明 (三重県 伊勢志摩国立公園)

情報提供 2 : 萩野 祐司 (奥三河☆星空の魅力伝える会)

参加の皆さんから近況など自由に情報交換する時間、相談・質問時間を設けます。

<https://forms.gle/BiRQr64sCEt7LXwi6> に申し込み。

申し込むと受付完了表示がでますが、その表示メッセージの中に当時の接続先の URL 情報が記載されていますのでメモしてください。(受け付けた旨のメールもとどきますがそちらではなく、送信直後の画面に注視してください。)



第3回星のソムリエのワークショップのお知らせ

次回の星のソムリエのワークショップのテーマが決まり、以下の事前調査を行うことになったのでご協力をお願いします。

今回のテーマ：観望会の開催日、曇天雨天になった時、どんな事をしていますか？です。こんな時、雨天曇天メニュー(星空案内の素材)がたくさん詰まった宝箱のようなもの(データのアーカイブ)があって、その中から気に入った素材がすぐに見つけれたらいいですね。そのような「夢の宝箱が実現可能か？」を明らかにすることを今回のワークショップのミッションにすることにしました。

事前調査では、以下のフォームでこんな質問への投稿を募集します。

Q1. この宝箱が「どんなものだったらいい」と思いますか。こんな宝箱が欲しいというイメージをお教えてください。

Q2. 「このような宝箱があったらいいな」と誰しも思うところですが、実際にはそのような宝箱は存在しません。困難な理由はなんでしょう？ご意見をお聞かせください。

また、類似したデータベースをこここれまで試みた、あるいは試みようとした方がおいでしたら、実現が困難な理由としてどんなことが考えられますか、お教えてください。

(調査期間：2024年12月1日-2025年1月10日)

以下のフォームから投稿をお願いします。

<https://forms.gle/Ns4noTogQmpytFgWA>



11月の機構の活動

11月(第15回)星のソムリエ何でも情報交換会(11月)

日時 2024年11月6日水曜 20:00-21:00

場所 zoom 会議 参加：15名

情報提供：

題目 「曇り対策は事前に撮影したものを利用しよう！」

氏名 大塚竜志

題目「話題の¥100 望遠鏡と、その拡張の¥200 双眼鏡」

氏名 林 厚志

題目 「曇りメニューの夢の宝箱は可能？」

氏名 柴田晋平

参加者からのお便り

★ 100 円望遠鏡紹介。星のソムリエ®@あんぱちでちょっと話題になっている。
双眼鏡に改造したりしている（200 円双眼鏡） 購入は 1 ロット 250（百均では追加オーダーできるのは珍しい？） 製作時間 20 分



林 厚志（星のソムリエ®@安八）

初めて参加させて頂きました太田原と申します。星の宝箱について、アイデア自体はすごく面白いと思いました。柴田先生の仰っておられたように解説ネタについては人の数だけあるかもしれませんが、画一的な解説になるのでは？というの考えすぎかもしれませんね。また機会があれば参加させて頂き、自身の解説のスキルアップだけでなく、イベント自体の魅力を向上させることで、多くの方に参加頂けるようなイベントになって、地域のお役に立ちたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

太田原章巨(合同会社ウンチク)

★ 大阪より参加させていただいた田中と申します。9 月に引き続きの参加です。

今回は、近況報告のところでも、曇天の時のミニアイデアを聞くことができ、気になるワードがいくつかありました。レジンで惑星を作り、望遠鏡で覗くというアイデアは、その惑星が立体なのか、平面なのかが気になりました。私もレジン作品は作るので興味がありました。

お二方のお話については、私の持っていない機材ばかりで、なかなか取り入れることは難

しいですが、来月の YouTube 配信をみて星空解説の勉強をさせてもらえたらと思いました。セリアの商品については、私もお店で見かけたことがあります。今度見つけたら購入して、制作時間 20 分程度とアナウンスがありました。うちの子どもに組み立ててもらい、どこが難しいか見極めてみたいと思います。次回も是非参加させていただきたいです。ありがとうございました。

とりあげて欲しいテーマについては、

- ・再びにはなりますが、観望会を予定していたが、天候が途中で悪くなってしまったときの対応方法（曇天の時の観望会のアイディア）
- ・天体に関する簡単な工作のアイディア（私は、星柄のしおりづくり、ガラスびんで簡単プラネタリウムをしたことがあります）

今日も PDF で図面印刷可能なページがあるとお話がありましたね。私も見たことがあります。です。現時点でも、上記 2 つが是非聞いてみたいことです。

また、勉強させていただいたけたら嬉しいです。私は小学校教員で、いつか自分の学校で観望会を開催するのが目標です。一度開催したことはあるのですが、来週の月曜に子どもの学校で観望会があるので、勉強してこようと思います。長文失礼いたしました。

田中もよ子(大阪)

★ しばらくシンポジウムにも参加出来ず、昨日は少しだけでも ROM 出来ればと参加させてもらいました。昨日後半の話題で、曇りの日のネタや資料などの共有？について話されてましたが、あったら良いかと確かに思います。誰かがやるのではなく、でお手伝い出来れば良いのですが。全体相手ですとなかなかありませんね(>_<)。期間限定で、お知らせした特定の方がたへのファイルや資料、写真などの共有なら経験ありますが。

ところで別件で考えていたことが、受講レポートの提出を web で、例えば google のアンケートなどを利用して提出できるようにはできないかと。そんなことを考えるのは、郵便料金の値上げです。施設も持たずに講座を開くと、レポートの提出などは郵送を利用したりしていますが、結果的に受講生の負担が増える形になるので心苦しいのです。更には、単位互換や実施団体の存続などもこれからは影響していくかと心配なので。ダメなのか？それとも実施団体で管理出来ればよいのか？教えてもらえませんか？将来的には受講証も認定証も web の会員証などの形式にできないかと。

私自身も年齢は定年を過ぎ、再任用で電気科や IT 科の生徒を教えるのも大変となり、3 月で完全引退しようかと考えています。アイデアとしてはそんなことも思い浮かぶのですがいかがでしょうか？

益々の発展を祈念しております。

岩野よしひろ((特)星空ファクトリー)

(機構からのお返事：単位認定レポートのやり取りをオンライン(メールベースや google Classroom のようなシステムなど)で行っている実施団体はありますので可能です。紙媒体のレポートで行うのとくらべるとそれぞれにメリット・デメリットがあるので各実施団体で

の判断になります。レポートの採点で間違ったときのフォローを丁寧に行えることを大事に
していただければと思います。

資格認定制度を実施するという事は、認定書、認定書を発行することと一体と考えられ
ました。したがって、認定書・認定証の発行については星空案内人制度規則にはなにも
書かれていません。実施団体の増加に従い、多様性もでてきますので、認定書・認定証につ
いての規定も今後明確にしなければならないと思われます。受講記録については、実施団体は
5年間の保存義務があります。それ以上については、受講生が実施団体からもらった単位取
得(合格)の書類や認定書が唯一の記録になるので、これらの書類を受講生に渡すことを厳守
ください。)

9月定例理事会の開催

開催日時：2024年09月08日 21:00-21:30

開催場所：法人事務所及びオンライン会場

出席：理事会メンバ10名中、出席9名、欠席：1名

- 今後の運営について
- 2025年3月開催予定の全国シンポジウムについて
- 新会員の承認
- その他、各事業グループでの活動報告の確認と議論

ニュースレターへお便り

先日の星空案内人講座で受講生から「動物は星をみているか？」という質問を受けました。困ってしまった
のですが、プラネタリウム業界ではある種の渡り鳥は星を見て飛ぶという話があるそうです。プラ
ネタリウム内で実験したということで取り上げることがあるそうです。他の動物もどうだろう？何か情
報をお持ちの方は教えていただけませんか？ shibata.shimpei@gmail.com まで。

柴田晋平(星のソムリエ機構)

お願い(原稿募集)

この News Letter は、制度の実施団体向けのメーリングリストおよび星のソムリエに関
心のある方が参加している members メーリングリストに配信しております。

話題のコーナーへの皆様からの投稿をお願いします。近況報告や星空案内ネタ、短い随筆、
俳句、短歌、写真などなんでも結構です。毎月月末発行ですので、その1週間前くらいまで
にいただければ嬉しいです。

(編集担当；柴田)